

「経営方針」

1 「経営の基本方針」

当社グループの経営にあたっては、各社の保有する経営資源をグループ全体で最大限活用した事業展開を行い、価値ある企業集団として成長すること、そして、グループのステークホルダーである、お客さま、従業員、社会、株主・投資家の皆さまの満足度を高め、将来にわたって支持・選択されるグループとなることを目指してまいります。

当社グループが取り組む事業領域については、21世紀の我が国の目指す方向（「IT化の推進」、「環境対策の強化」、「教育、研究の向上」、「医療、福祉の充実」）にも合致するものとして、以下の4つを設定しています。

- ・エネルギーの有効活用に対応した総合エネルギー事業
- ・IT化の進展に対応した情報通信事業
- ・環境対策の強化に対応した環境・リサイクル事業
- ・少子高齢化の進展に対応した医療・福祉関連事業をはじめとし、社会インフラ整備も含めた幅広い領域である生活サービス事業

特に中核の電気事業におきましては、昨年3月に特別高圧のお客さまへの電力の小売供給が自由化され、一部の官公庁などに新規参入者による電力供給が開始されるなど競争が本格化する一方、お客さまニーズの多様化や技術開発の進展により分散型電源が急速に普及しつつあります。当社グループは、引き続き、電力の安定供給や地球環境問題などの公益的課題に対して積極的に対応していくとともに、競争に勝ち抜いていく経営を進めてまいります。

このような変革と競争の時代を迎え、当社グループがさらに発展していくためには、徹底した効率化、コスト削減等によって得られたキャッシュ・フローを価格競争力の確保や有利子負債の削減、新規事業への投資などに充当し、強固な経営基盤の確立を目指すことが最重要課題であります。このため、当社は「中期経営方針」（平成11～15年度対象）において、当社の「目指すべき企業像」と「経営目標」を設定し、当社の経営姿勢をお客さまや株主の皆さまに対して明確に示すとともに、経営革新への取り組みを進めております。

【当社の目指すべき企業像】

(1) 価格や品質などあらゆる面において競争力を持つ強靱な企業

価格や品質、サービスなどあらゆる面で新規参入者や他の電力会社に対抗できる競争力を持ち、市場からの発想に立ったきめ細かな営業活動を展開するとともに、資本市場において高い評価が得られるよう強固な財務体質を備えた企業を目指します。

(2) 環境の変化や多様なニーズに弾力的に対応できる企業

全社の経営戦略のもと、各機関が環境変化や多様なお客さまニーズに迅速、的確に対応して自主的に業務運営を推進していくとともに、社員がそれぞれの能力を最大限に発揮して業務に取り組む企業を目指します。

(3) 電力供給事業を中核に幅広く事業展開する企業

電力需要の伸びの鈍化や競争激化，規制緩和の進展など経営環境の変化のなかで，統一的な戦略のもとにグループ全体としての経営効率・収益性を高く保持し，新たな事業領域を積極的に発掘・展開する企業を目指します。

(4) 社会から信頼され，認められる企業

企業としての社会的責務を果たし，地域のお客さま，さらには国内外から信頼され，認められる企業を目指します。

【当社経営目標】

項 目	内 容
株主資本比率	平成15年度末で20%以上
有利子負債削減	平成12～15年度累計で 2,000億円程度
R O A (総資産利益率)	平成12～15年度平均で 1.5%程度
R O E (株主資本利益率)	平成12～15年度平均で 8 %程度
経常利益	平成12～15年度平均で 900億円程度

2 「利益配分に関する基本方針」

当社の利益配分につきましては，価格競争力の確保や有利子負債の削減，新規事業への投資などに充当し，強固な経営基盤の確立を目指すとともに，配当については，安定配当を維持することを基本としてまいります。